

**CONTENTS**

- ごあいさつ…………… 1
- 男女共同参画からダイバーシティ & インクルージョンへ…………… 1
- アンケートご協力のお願ひ…………… 1
- 学生向けインターンシップ開催…………… 2
- 企業主導型保育園との共同利用 契約締結…………… 3

■ごあいさつ

理事（ダイバーシティ&インクルージョン担当） 鈴木 雅子

本学が平成29年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業（ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型））に選定され、6年目（最終年度）を迎えました。

皆様のご理解・ご協力により、掲げた5つの目標すべてを達成する見込みです。

この事業は本年度で終了しますが、本学の発展のためには、今後も女性教員のみならずすべての教職員・学生が希望を持って働き、学べる環境を整えていくことが大切です。

引き続き、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

■男女共同参画からダイバーシティ&インクルージョンへ

本学では令和4年度より、これまでの男女共同参画からダイバーシティ & インクルージョンへと名称を改め、取組みを推進することとなりました。



**男女共同参画**

男女共同参画社会、男女共同参画とは、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会、またそれを目指すこととされています。

**ダイバーシティ&インクルージョン**

ダイバーシティ&インクルージョンとは、その言葉の通り、ダイバーシティ=多様性、インクルージョン=包括・受容を合わせ、多様性を認め、受け入れ、活かすことを意味しています。

男女共同参画では女性活躍や男性の子育て参画、男女共に働きやすい環境作りといった、性別にフォーカスを当て、男女差を解消することを目的とした施策が多くありますが、ダイバーシティはより広義を指す言葉であり、性別はあくまでも数多くある多様性の中の一つの要素に過ぎません。

また、単に組織において人材の多様性（ダイバーシティ）を高めることだけを目的とするのではなく、その多様な人材を受容し、能力を発揮できる組織環境・風土づくりを行うこと（インクルージョン）までを含めて、“ダイバーシティ&インクルージョン”という言葉が掲げられています。

■ご協力のお願ひ“ダイバーシティ&インクルージョン推進に係る教職員アンケート”

本学では毎年「男女共同参画に関する意識調査」を実施してきました。今年度も同様のアンケートを実施しておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。（3/17まで）

詳細については2/15に対象者へ向けて発信しておりますメール、および学内グループウェアの掲示をご確認ください。【[ダイバーシティ](https://kyutech.ac.jp)】アンケート調査へのご協力のお願ひ ([kyutech.ac.jp](https://kyutech.ac.jp))

## ■ 学生向けインターンシップを開催しました

本学にて、2022年9月13日に学生向けのインターンシップを開催しました。

1 day お仕事体験と題し、九州工業大学の歴史や組織を知っていただくとともに、管理本部企画部企画課の一部の業務（ダイバーシティ＆インクルージョン関連）を、学生の皆さんに実際に体験していただきました。（参加者：他大学学生8名＋本学採用内定者1名）

実際に本学の抱える課題について検討を行い、改善案の検討、取り組みの企画・立案といった一連の流れを通し、大学職員としての仕事に触れるとともに、本学にとっても学生ならではの視点から多くの提案をいただけるとても良い機会となりました。

### 概要

企画課の業務の一環であるダイバーシティ＆インクルージョンの推進に関連し、本学の改善課題の一つである「**性的マイノリティの学生への支援案**」を取り上げ、改善案の検討および担当理事への説明・提案を行いました。

### スケジュール

午前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・大学の歴史・組織、企画課の役割について</li> <li>・企画課ミーティング参加</li> <li>・キャンパス案内</li> </ul>
午後	企画業務体験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画立案</li> <li>・担当役員への提案</li> </ul>

### 参加学生の感想（一部抜粋）

- ・九工大の歴史や特色だけでなく、企画立案の業務を実際に体験できて満足だった。
- ・大学事務の方がどんなことをしているのかということがよく知れた。性的マイノリティについても理解を深めることができた。
- ・誰もが暮らしやすい環境という、自身が将来取り組んでいきたい内容であり、学びが多くあった。
- ・グループワークなど社会に出た際実際に行うようなことを体験でき、いい経験になった。
- ・大学職員の仕事は学生と直接かわらない仕事の方が多いが、その目的はどの部署でも「学生を支援する」ということだと感じた。
- ・働くことがどういうことなのか、自分の中で考える良い機会となった。

### 【当日の様子】



①



②

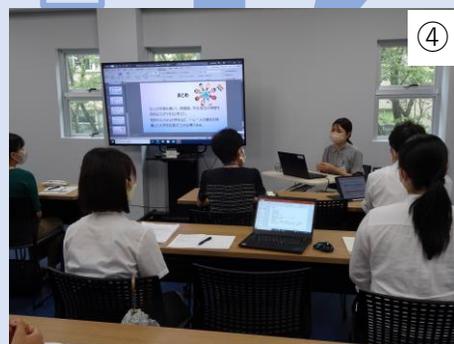
- ① 九工大の歴史を学ぶ
- ② 学内を見学
- ③ グループでの検討
- ④ 理事への説明



③



④



④



## ■企業主導型保育園（戸畑）と共同利用契約を結びました

この度、本学では育児支援の一環として、戸畑キャンパス近隣の企業主導型保育園と共同利用契約を結びました。これにより、当該保育園の定める企業枠（定員の50%以上を確保）を利用できることとなりました。

※入園の可否はその時の定員状況により判断されるため、100%の利用を確約するものではありません

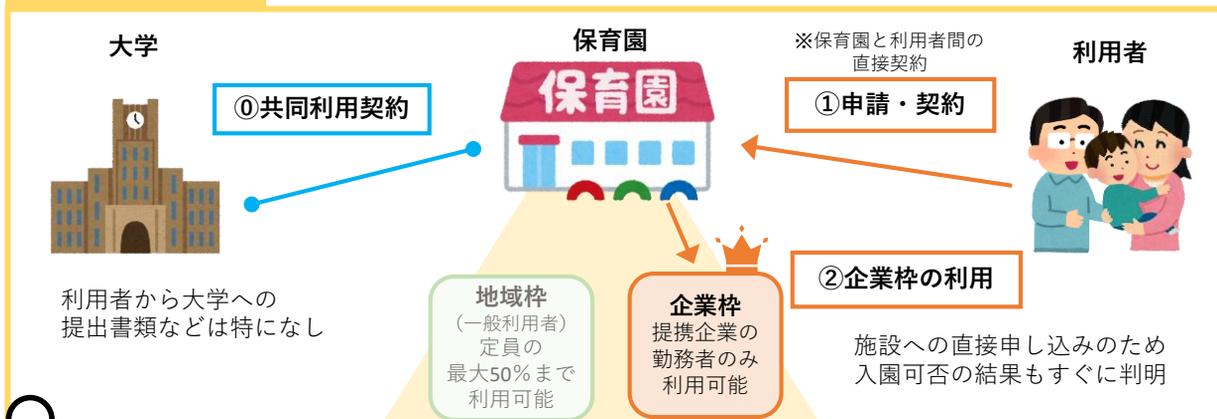
### ❓ 企業主導型保育園とは

平成28年度に内閣府が開始した「企業主導型保育事業」という、企業向けの助成制度を活用して設置された保育園です。この助成制度は、「多様な働き方に応じた保育の提供」を全国に広げることを目的に作られており、この制度を活用した企業主導型保育施設は「働く世代」を応援するために、さまざまな形態で運営されています。

### ❓ 企業主導型保育園の「保育の質」は

企業主導型保育園は認可外保育園に位置付けられていますが、職員配置や設置の基準は認可保育園と同レベルの保育園です。保育の質を担保するため、設置に当たっては内閣府の定める厳格な基準をクリアし、また児童育成協会による定期的な指導・監査も行われています。

### 利用の概要



💡 企業主導型保育園は国からの助成を受けており、保育料は基準によって上限が定められているため、認可外保育園と比較しても安価であり、入園料も必要ありません。

保育園の詳細等については、企画課までお問い合わせください。

Mail: danjo-info@jimu.kyutech.ac.jp TEL: 87-3212

今回、戸畑キャンパス近隣の施設と契約を結びましたが、今後さらに飯塚、若松エリアへの対応についても検討を進めていきます。

企業主導型保育事業の詳細については下記のサイトをご参照ください。

内閣府ホームページ

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/links/index.html>



児童育成協会ポータルサイト

<https://www.kigyounaihoiku.jp/users>



国立大学法人

九州工業大学

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

TEL : 093-884-3212 FAX : 093-884-3533

HP : <https://www.kyutech.ac.jp/gender/>

MAIL : danjo-sankaku@jimu.kyutech.ac.jp